

伊賀市議会研究研修報告書

伊賀市議会議長 様

報告者 議員名 西條 英里子

研修会名 第14回 2022年度 日本自治創造学会 研究大会

日 時 令和4年 5月 19日 10時 00分～令和4年 5月 20日 10:00～14:30

場 所 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内 一橋講堂

【研修の成果】

別紙のとおり

費用 旅費: 40,292円 研修参加費: 15,000円 合計: 55,292円

46.2
第 号

伊賀市議会研究研修報告書

伊賀市議会議長 様

報告者 議員名 西條エリ子

研修会名 第14回2022年度日本自治創造学会 研究大会

研修日時 2022年5月19日(木) 13:00~17:30

2022年5月20日(金) 10:00~14:35

研修場所 東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内 一橋講堂

【研修の成果】研修事項の概要 添付資料参照

変化への挑戦～元気な地方を創り出す～のテーマで

特に研修を深めることができたプログラムを報告します。

1. 講師 牧島かれん (デジタル大臣・行政改革担当大臣)

講演 日本のデジタル政策

政府の推進するデジタル田園都市国家構想とは

地方からデジタルの実装を進め、新たな変革の波を起こし、地方と都市の

差を縮めていくことで、世界とつながるための実現に向け、構想の具体化

を図るとともに、デジタル実装を通じた地方活性化を推進

牧島大臣の説明により、理解が深まりました。

令和3年度補正予算でデジタル田園都市国家構想推進交付金の採択され

る事業について伊賀市の事業についても検証できました。

2. 講師 広井良典氏（京都大学こころの未来研究センター教授）

講演 人口減少・成熟のデザイン

2050年、日本は持続可能か？ AIを活用した未来シナリオの選択

「都市集中型」か「地方分散型」 講師の著書を事前に持っていたので、

興味深く講義を受けました。要点として、現在の日本において進みつつ

あるのは“東京一極集中”ではなく、むしろ「少極集中」と呼ぶべき姿な

のである。こうした構造を、上記の「多極集中」と呼べる国家構造に転

換していくことが重要である。このことから、人口減少の対策では、「ロ

ーカリゼーション」若い世代など次世代へ支援、地域の伝統文化を踏ま

えた活動の展開など幅引く視点を考える機会が持てた。

第2日目

3. 講師 熊谷 俊人 千葉県知事

講演 新しい千葉の時代を切り開く

首都圏を形成する千葉県の総合計画の中で、地方都市の伊賀市との共通

を見出すことは、難しいと思われたが、教育施策の充実により子どもの可

能性を広げるという基本目標は伊賀市でも可能であると感じました。

県独自の専科教員等の配置やGIGAスクールについては、全国共通の

これからの課題でもあることを理解しました。

4. パネルディスカッション 地方行政のリーダーが語る

変化への挑戦！～元気な地方を創り出す～

このディスカッションの中のパネリストに滋賀県守山市長がいらっしゃり、発表された民主導をベースに、行政・まちが全力で応援して活性化する起業家のまちづくりが伊賀市にもつながるものであると思いました。

地方創生の柱にしている「企業家の集まるまち」はスタートアップの支援が成功していると感じた。守山市出身の起業家が多数活躍している中に私とも交流が^ある若手起業家いたことに、県を超えて発展させていると感じた。

以上 特に、研修概要成果を感じた4講演を報告とします。

旅程明細書

No.

旅行者	所属	伊賀市議会	氏名	西條 エリ子
用務名(目的・場所)	第14回2022年度日本自治創造学会研究大会			
	一橋大学学術総合センター2階一橋講堂 東京都千代田区一ツ橋2-1-2			
用務従事期間 (時間)	従事 月日	5月 19日	従事 時間	13:00 ~ 17:30
		5月 20日		10:00 ~ 14:35
		月 日		~

出張 月日	出発地 (出発箇所)	交通 用具	到着地 (到着箇所)	鉄道賃・船賃・航空賃・車賃			小計	日当	宿泊料	夕食代	朝食代	
				路程	運賃	急行料金						
				km	円	円	円	円	円	円	円	
5月19日	伊賀市	自家用車	名古屋駅									
	名古屋	新幹線	東京	366.0	6,380	4,920	11,300					
	東京	東京外口	大手町	0.6	170		170					
	大手町	東京外口	神保町	1.7				1,500	9,000	1,700		
5月20日	神保町	東京外口	大手町	1.7	170		170	1,500			900	
	大手町	東京外口	東京	0.6								
	東京	新幹線	名古屋	366.0	6,380	4,920	11,300					
	名古屋駅	自家用車	伊賀市									
計							円 22,940	円 3,000	円 9,000	円 1,700	円 900	
							合計	37,540 円				

領収書等添付用紙

議員名

西條エリ子

調査研究費・**研修費**・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費
人件費・事務所費 (該当項目に○をつけてください。)

駅No 51301160 領収書No 90
窓口No 4

領 収 書

市川 岳人 西條エリ子
増田 雄 様

金額 ￥33,900円
「消費税等込み」

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2022年 5月19日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

名古屋駅

現金出納社員

印

領収証原本は市川議員の領収証に添付

領収書等添付用紙	議員名	西條エリ子
調査研究費・ 研修費 ・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費 人件費・事務所費 (該当項目に○をつけてください。)		

発行No. 13941975
表示日:発行日: 2022年6月24日
Date of display

領収書

下記、正に領収致しました。
This is to certify that IKYU.corp has received the following.

宛名 市川岳人 様
Received from

金額 金 27,000 円 (税込)
The sum of

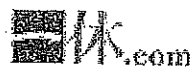
但し 宿泊代金として
In payment of ※クレジットカードにて決済

予約番号 IK0730292119
Reservation Number

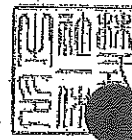
ご利用施設 ソラリア西鉄ホテル銀座
Accommodation

宿泊日 2022/05/19 より 1 泊
Staying Date

※本紙は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。
This is an electronic display of receipt data.



株式会社 一休
107-0052 東京都港区赤坂3-3-3
住友生命赤坂ビル6階



発行No. 13941975
表示日:発行日: 2022年6月24日
Date of display

ご利用明細

■宿泊内容

宿泊日	施設名	人数	室数
2022/05/19	ソラリア西鉄ホテル銀座	3	3

■宿泊代表者氏名

市川 岳人 様

領収書等添付用紙	議員名	西條エリ子
調査研究費 (研修費)・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費 人件費・事務所費		(該当項目に○をつけてください。)

領 収 証

2022年 5月20日

市川 様

金33,900円

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
東京831 No.000037

領収証原本は市川議員の領収証に添付

伊賀市議会政務活動費明細書

伊賀市議会議長 様

報告者
議員名

西條エリ子

支出項目

調査研究費 研修費 広報費 広聴費 会議費 資料作成費 資料購入費
人件費 事務所費 (該当項目に○をつけて下さい)

内 容

日付	明細	領収書等の 金額 (円)	按分率	金額 (円)
5/19	有料道路通行料 亀山一名古屋西	1,730	1/3	576.6
5/20	駐車料金	4,800	1/3	1,600
5/20	有料道路通行料 名古屋西一亀山	1,730	1/3	576.6
/				
/				
/				
/				
/				
計				2,752円

領収書等添付用紙

議員名

西條エリ子

調査研究費・紙修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費
人件費・事務所費

(該当項目に○をつけてください。)

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 名古屋西

お問い合わせは、中日本お客さまセンター
フリーダイヤル 0120-922-229
上記番号をご使用になれないお客さまは
TEL 052-223-0333 (有料)

22年 5月19日 9時11分
車種 普通

通行料金 ¥1,730-
(現金)

-入口料金所- 龜山
NEXCO中日本は、首都圏の料金所で
4月からETC専用運用を順次開始します
中日本高速道路株式会社
愛知県名古屋市中区錦2-18-19
取扱番号216-00090834-00

行き

龜山 - 名古屋西

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 龜山

お問い合わせは、中日本お客さまセンター
フリーダイヤル 0120-922-229
上記番号をご使用になれないお客さまは
TEL 052-223-0333 (有料)

22年 5月20日 17時48分
車種 普通

通行料金 ¥1,730-
(現金)

-入口料金所- 名古屋西
NEXCO中日本は、首都圏の料金所で
4月からETC専用運用を順次開始します
中日本高速道路株式会社
愛知県名古屋市中区錦2-18-19
取扱番号214-00101715-00

帰り

名古屋西 - 龜山

オータケパーキング

中村区椿町20-1

TEL: (052) 452-2095

領 収 証

精算機 #04	P 精算No.000067
発券機 #01	発券No.069828
入庫時刻	2022年 5月19日(木) 09:22
精算時刻	2022年 5月20日(金) 16:52
駐車時間	1日 7:30
駐車料金	A料金 4,800円
=====	
合計	4,800円
現金領収額	4,800円
お預り	5,000円
お釣り	200円

またのご利用をお待ちしております。

領収書等添付用紙	議員名	西條エリ子
----------	-----	-------

調査研究費 研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費
 人件費・事務所費 (該当項目に○をつけてください。)

領 収 証

西條エリ子様 No. 58

金額

¥15000

但 第14回 日本自治創造学会研究大会 参加費
 2022年 5月 19日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

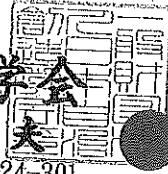
消費税額等(%)

一般財団法人

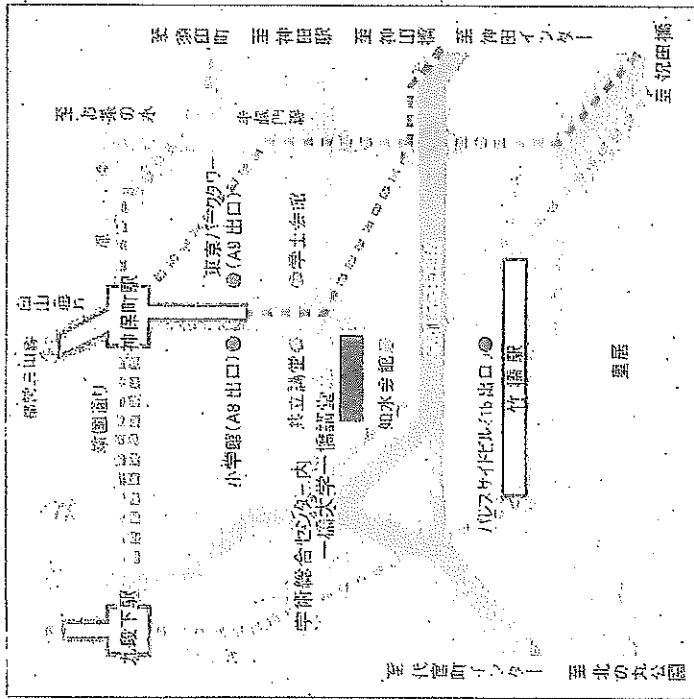
日本自治創造学会

理事長 穂坂 邦夫

東京都千代田区神田佐久間町2-24-301



コクヨ ウケ-695



- 東京メトロ半蔵門線/都営新宿線 徒歩 4 分
神保町駅(A8/A9出口)
- 東京メトロ東西線 徒歩 4 分
竹橋駅(1b出口)

財団法人 日本自治創造学会
The Japanese Society for Local Democracy

理事長 穂坂 邦夫
〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町2-24-301
(事務局)NPO法人地方自治政策研究所内
TEL 03-5846-9227
FAX 03-5846-9228
http://jsozo.org
E-mail:info@jsozo.org

第14回 2022年度日本自治創造学会 研究大会

変化への挑戦!
～元氣な地方を創り出す～

【日程】

2022年 5月19日(木) 13:00～17:30
5月20日(金) 10:00～14:35

※新型コロナウイルスの感染拡大等の事情によりオンライン/開催に変更となる場合がございます。

【会場】 東京 一橋大学 学術総合センター2階 一橋講堂
東京都千代田区二ツ橋2-12

【参加費】 会員 15,000円 (年会費2,000円、2日間大会参加費、資料代含む)
※大学院生会員参加費 2,000円 (年会費、2日間大会参加費、資料代含む)
非会員 15,000円 (2日間大会参加費、資料代含む)
※大学院生非会員参加費 3,000円 (2日間大会参加費、資料代含む)
改選発表会兼交流会 参加費 1,500円

研究大会プログラム

■ 第1日目 5月19日(木)

- 12:00 開場・受付
- 13:00～13:10 大会挨拶 萩坂 邦夫 (財)日本自治創造学会理事長
- 13:10～13:50 講演 日本のデジタル政策
牧島 かれん (デジタル大臣・行政改革担当大臣・内閣府特命担当大臣(行政改革))
- 13:50～14:30 講演 人口減少・成熟社会のデザイン
広井 良典(京都大学二つの未来研究センター教授)
- 14:30～15:00 講演 地域活性化に資する経済産業省の取組について
多田 明弘(経済産業省副次官)
- 15:00～15:10 質疑
- 15:10～15:20 休憩
- 15:20～17:30 特別発表及びパネルディスカッション ～民間人の活躍で地方活性化～
持続可能な地域づくりを目指す海士町の取組
阿部裕志(株式会社とくと代表取締役)

面白法人がヤツクの鎌倉での取組と「まほのコイン」
柳澤大輔(株式会社ヤツク代表取締役CEO)

献金、青書、1,000万円

若新雄純(慶應義塾大学大学院経済・マネジメント学研究科特任准教授)

17:40～20:00 改革発表会兼交流会 ～改革大発掘・ベスト10の選出・組内・組間・交流～

■ 第2日目 5月20日(金)

- 10:00～10:40 講演 元気な地域をつくるのは、当事者の視点
山下 剛(財)日新山本ネットワーク和歌山部副部長)
- 10:40～10:50 質疑
- 10:50～11:30 講演 新しい千菓の時代を切り開く
熊谷 俊人(千菓副社長)
- 11:30～11:40 質疑
- 11:40～13:00 昼食
[12:35～(財)日本自治創造学会総会]

13:00～14:30 パネルディスカッション 地方行政のリーダーが語る
変化への挑戦!～元気な地方を創り出す～

パネリスト
田中 幹夫(海山県知事)
野口市太郎(福岡県五島市長)
宮本 和宏(滋賀県守山市長)

コーディネーター

牛山 久仁彦 (明治大学政治経済学部教授)

14:30～14:35 閉会挨拶 牛山 久仁彦 (財)日本自治創造学会理事・明治大学教授)



千葉県の
マスコット
キャラクター
「チーバくん」

新しい千葉の時代を 切り開く

～「まち」「海・緑」「ひと」がきらめく千葉の実現～

イントロダクション 千葉県の概況



人 口	6,284,480 人	(全国6位)	※令和2年国勢調査
事業所数(民営)	196,579 事業所	(全国9位)	※平成28年経済センサス-活動調査
農業産出額	3,853 億円	(全国4位)	※令和2年生産農業所得統計
海面漁業漁獲量	99,143 t	(全国8位)	※令和2年漁業・養殖業生産統計
製造品出荷額等	125,183 億円	(全国8位)	※2020年工業統計調査
年間商品販売額	125,632 億円	(全国9位)	※平成28年経済センサス-活動調査(卸売業、小売業)

トピックス 千葉県・阿曽県

○県政150周年：令和5年6月15日 ○圏央道の県内区間全線開通：令和6年度予定

○成田空港の第3滑走路の供用開始：令和10年度末予定

伊賀市議会研究研修報告書

伊賀市議会議長 様

報告者

議員名 西條 エリ子

研修会名 議員のための都市計画【活用編】

日時 8月9日14時00分～17時00分

場所 京都経済センター 京都市下京区四条通東入函谷鉾町78番地

【研修の成果】 講師：谷口 守 筑波大学教授 資料添付

「少子高齢化社会における持続可能なまちづくりを考える」のサブテーマのもと人口減少

予測にあらがうための政策は何か、＝地方自治体の推計人口と実人口の乖離に着目して、

データ、分析の視点から教授いただいた。興味深く聞かせていただいた点では、私の6月

一般質問で人口減少問題について取り上げさせて頂いた地方消滅都市の発表が2014年

にあり、その推計結果により自治体の不安を煽ることになったが「何が運命を良い方向

に変えるか？」という情報を提供する重要性が谷口講師の研究の背景である。予測より増

加に転じた自治体では、事例として島根県海士町、乖離1.17・特産品のブランド化

による雇用創出・子育て支援・iターン者の増加等に成功、北海道厚真町、乖離1.13

「子育て支援住宅」の整備、起業・就農支援など人口予測の推計手法では考慮できていな

い地方自治体の様々な取り組みが反映された。

この点では伊賀市においても地域おこし協力隊や、移住定住政策により人口の



社会増に反映されていると思われます。
また、都市計画において人口減少時代に向けて、都市のボリュームを低減させる
都市再構築についても地方都市にとって、どのような戦略があり得るか、社会のニーズを
読みながら時代遅れにならないように自らその再構築を心がけていくことが都市の寿命を
保つうえで大切であると認識を新たにすることができました。
費用 旅費： 円 研修参加費： 15,000 円 合計： ^{15,000} 16,980 円

領収書等添付用紙	議員名	西條 工子
----------	-----	-------

調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費
 人件費・事務所費 (該当項目に○をつけてください。)

領収書

伊賀市議会
 西條 工子 様

2022年8月9日

金額

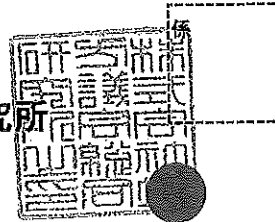
¥ 15,000

但8月9日セミナー受講料として
 上記正に領収いたしました



〒112-0011
 東京都文京区千石 2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所



少子高齢化社会における 持続可能なまちづくりを考える

2022.8.9. 午後の部
(教科書には無い参考スライド)

筑波大学 谷口守

5.人口の取り戻し方

国内地域間での過剰な競争の存在

人口減少予測にあらがうための政策は何か

—地方自治体の推計人口と実人口の乖離に着目して—

同時開催！
オンラインセミナー

議員・職員のための

少子高齢化社会における 持続可能なまちづくりを考える

<概要>

地域活性化、人口減少対策、SDGs、自給運動などのモビリティ・イノベーション、コンパクトシティ、健康まちづくり、社会基盤の維持管理など、現在の自治体行政はまちづくりや都市計画に関係する課題にあふれています。またその中身もコロナへの対応、DX（デジタル・トランスフォーメーション）

など時代に応じて急激に変化しており、先を見据えた対応が求められます。この授業では都市計画の基本的な仕組みを理解し、議会対応や住民との対話を進めるうえで知っておく必要のある最新の諸課題を整理するとともに、今後の方向性についても解説を行います。

8月9日(水)

in 京都

◆10:00～13:00

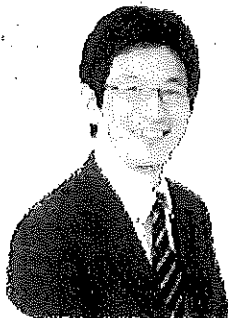
議員のための都市計画
<基礎編>

1. はじめに：
成人病にかかった日本の都市
2. 豊かな都市空間を考える
3. 都市計画の基本的な仕組み
4. コンパクトシティを再考する

◆14:00～17:00

議員のための都市計画
<活用編>

1. 人口の取り戻し方
2. 環境負荷とSDGs
3. スマート化、
サイバー化するまちづくり
4. Beyond コロナのまちづくり



講師：谷口 守【筑波大学教授】

京都大学工学部助手、カリフォルニア大学パークレイ校客員研究員、筑波大学社会工学系講師、ノルウェー王立都市地域研究所文部省在外研究員、岡山大学環境理工学部助教授、同教授を経て平成21年より現職。
国際住宅・都市計画連合（IFHP）評議員、国土審議会・社会資本整備審議会・交通政策審議会専門委員、日本都市計画学会学術委員長、理事などを歴任。
著書に『地域・まちづくりワーク：成功に導く進め方と技法』『生き物から学ぶまちづくり』『入門都市計画：都市の機能とまちづくりの考え方』ほか、令和3年度文部科学大臣賞（科学技術賞）受賞。

(株)地方議会総合研究所

伊賀市議会研究研修報告書

伊賀市議会議長 様

報告者

議員名

西條 英里子

研修会名 第17回全国市議会連合会議長会研究フォーラム

日時 10月19日13時～10月20日11時

場所 長野県長野市若里1-1-3 ホクト文化ホール

【研修の成果】

全国市議長会主催による研修研究フォーラムに参加。

全国から約2000人の市・区議会議員が一同に会し共通する政策課題等について情報や意見交換を行い、地方分権の時代に即した議会機能の充実と活力に満ちた地域づくりに資することを目的として開催され、開会式では主催市長野市議会の戦国武将のパフォーマンスと木遣歌のおもてなし基調講演では(株)経営共創基盤会長(株)日本共創プラットフォーム代表社長の富山和彦氏による「コロナ後の地域経済」と題して講演。「グローバル競争の中で日本経済・企業の地位が低下している。日本経済復興はローカル経済圏、中堅・中小企業経済圏にある」「ローカル産業の生産性、収益性を抜本的に改善していくことが重要」と強調されました。

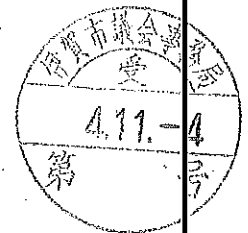
伊賀市においても課題である地域公共交通の維持存続についても、「みちのりホールディングスとして東北で路線バス事業の統合・再編に取り組まれている、デジタル革命新フェーズの主戦場の変化をチャンス到来と捉え、「地道な改善改良の先にdx的解決が自然に浮かび上がってくる再編によるベストプラクティスの横展開やスケールメリットの追求で改善効果を生み出す」なかなか刺激的なお話で、東北の公共交通の視察に行ってみたいと思いました。

第2部パネルディスカッションでは『地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性』と題して2040年ころの社会構造の問題とデジタル化、その変化へ対応するための地方議会のデジタル化などの意見が交わされました。伊賀市議会においてもDX化が進められていますが、デジタル化をすることが目的ではない、コロナ禍を経験し、平時、災害時に関わらず、議会機能が十分発揮でき、市民とのコミュニケーションが確保できる、こうした視点が重要であると認識しました。

2日目

課題討議 『地方議会のデジタル化の取り組み』

取手市議会におけるICTを活用した7つの取り組みなど、他市議会の報告を聞き、当議会のデジタル化の進捗を比較することができた。



費用

旅費： 23522 円 研修参加費 9000 円 合計： 32522 円

旅程明細書

No.

旅行者	所属	伊賀市議会	氏名	西條 エリ子
用務名(目的・場所)	第17回全国市議会議長会研究フォーラム ホク外文化ホール 長野県長野市若里1-1-3			
用務従事期間 (時間)	従事 月日	10月 19日	従事 時間	13:00 ~ 16:50
		10月 20日		9:00 ~ 11:00
		月 日		~

出張 月日	出発地 (出発箇所)	交通 用具	到着地 (到着箇所)	鉄道賃・船賃・航空賃・車賃			小計	日当	宿泊料	夕食代	朝食代
				路程	運賃	急行料金					
10月19日	伊賀市	自家用車	ホク外文化ホール (長野市若里)	km	円	円	円	円	円	円	円
	ホク外文化ホール (長野市若里)	自家用車	Royal Hotel長野 (長野市松代町)								
10月20日	Royal Hotel長野 (長野市松代町)	自家用車	ホク外文化ホール (長野市若里)	km	円	円	円	円	円	円	円
	ホク外文化ホール (長野市若里)	自家用車	伊賀市								
計							円	円	円	円	円
							合計	3,000	14,000	800	円
								17,800			円

※宿泊料の上限14,800円のため、夕食代800円

W000453

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野

令和4年11月2日

伊賀市議会 御中 西條 エリ子 様

宿泊費領収書

東武トップツアーズ(株)官公庁事業部

第4営業部長 村井 良

東京都新宿区西新宿7-5-25

金 14,000 円

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野

令和4年10月19日・20日開催 (長野市)

但し

宿泊費として

W000453

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野

令和4年11月2日

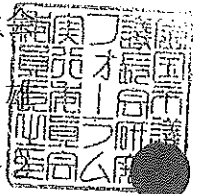
伊賀市議会 御中 西條 エリ子 様

参加費領収書

第17回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員

委員長 清水 富

東京都千代田区平河町2-4-



金 9,000 円

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野の参加費として

令和4年10月19日・20日開催 (長野市)

伊賀市議会政務活動費明細書

伊賀市議会議長 様

報告者
議員名

西條エリ子

支出項目

調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費
人件費・事務所費

(該当項目に○をつけて下さい)

内 容

日付	明細	領収書等の 金額 (円)	按分率	金額 (円)
10/19	有料道路通行料、 亀山ー長野、	9,110	1/3	3036.6
10/20	有料道路通行料、 松本ー亀山、	8,060	1/3	2686.6
/				
/				
/				
/				
/				
/				
計				5,722 円

領収書等添付用紙

議員名

西條エリ子

調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費
人件費・事務所費

(該当項目に○をつけてください。)

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 長野

NEXCO東日本お客さまセンター
0570-024-024
または
03-5308-2424

22年10月19日11時36分

車種 普通

通行料金 ¥9,110-

(現金)

—入口料金所— 亀山

高速道路上で停止車両を見聞きした際は、
停止車両や人に注意しながら安全走行を!

東日本高速道路株式会社
東京都千代田区霞が関3-3-2
取扱番号201-02490802-00

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 亀山

お問い合わせは、中日本お客さまセンター
フリーダイヤル 0120-922-229
上記番号をご使用になれないお客さまは
TEL 052-223-0333 (有料)

22年10月20日15時44分

車種 普通

通行料金 ¥8,060-

(現金)

—入口料金所— 松本

ETC利用は請求額が変わる場合があります

通行料金は、消費税率10%対象です

中日本高速道路株式会社

愛知県名古屋市中区錦2-18-19
取扱番号212-00221216-00

行き

亀山 — 長野

帰り

松本 — 亀山

領収証原本は 市川議員の領収証に添付

第17回

全国市議会議長会 研究フォーラム

National Association of Chairpersons of City Councils



開催のご案内

参加申し込み期間

〔議長を含めた全ての対象者のお申込み〕

7月19日(火) 10時00分～7月29日(金) 17時00分

開催日：令和4年10月19日(水)・20日(木)

場 所：ホクト文化ホール（長野県県民文化会館）

主催：全国市議会議長会 後援：総務省（予定）

協賛：全国市議会議員互助会（有）都市企画センター

実施：第17回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会



開催概要

日時	第1日目：令和4年10月19日（水）13時00分開会（開場・受付 11:30） 第2日目：令和4年10月20日（木）9時00分開会（開場 8:30）
場所	ホクト文化ホール（長野県県民文化会館） 長野県長野市若里1-1-3 ※会場等へのアクセスについては、P.8「会場へのアクセス」をご参照ください。
主催	全国市議会議長会
後援	総務省（予定）
協賛	全国市議会議員互助会、（有）都市企画センター
プログラム内容	<p>第1日目（10/19）</p> <p>第1部 基調講演 「コロナ後の地域経済」（予定） 富山 和彦 株式会社 経営共創基盤(IGPI) グループ会長 株式会社 日本共創プラットフォーム(JPIX) 代表取締役社長</p> <p>第2部 パネルディスカッション 「地方議会のデジタル化の意義と課題」（予定） コーディネーター 人羅 格 毎日新聞社論説委員 パネリスト 岩崎 尚子 早稲田大学電子政府・自治体研究所教授 牧原 出 東京大学先端科学技術研究センター教授 湯浅 壘道 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授 寺沢 さゆり 長野市議会議長</p> <p>第3部 意見交換会（ホテルメトロポリタン長野）</p> <p>第2日目（10/20）</p> <p>第4部 課題討議 「地方議会のデジタル化の取組報告」（予定） コーディネーター 谷口 尚子 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授 事例報告者 取手市、可児市、西脇市</p> <p>第5部 視察（希望者のみ）</p>
定員	2,300名（予定） ※申込者が定員を超えた場合は、抽選を行います。 ※申込み時に議長優先を選択した議長につきましては、抽選を行わずメイン会場（大ホール）での参加当選が決定となります。それ以外の申込者については、抽選により「参加：メイン会場（大ホール）」、「参加：中継会場（中ホール）」、「キャンセル待ち」を決定致します。 ※議会事務局職員の申込みにつきましては、各市区につき1名を限度とさせていただきます。 ※詳細は、P.9～12「参加申込みのご案内」をご参照ください。
参加費	1人9,000円



タイムスケジュール

第1日目 10月19日(水) [会場：ホクト文化ホール（長野県県民文化会館）]

11:30 開場・受付

13:00 開会式

13:20 第1部 基調講演

「コロナ後の地域経済」(予定)

富山 和彦 株式会社 経営共創基盤(IGPI) グループ会長
株式会社 日本共創プラットフォーム(JPIX) 代表取締役社長

14:20 休憩

14:40 第2部 パネルディスカッション

「地方議会のデジタル化の意義と課題」(予定)

コーディネーター 人羅 格 毎日新聞社論説委員

パネリスト 岩崎 尚子 早稲田大学電子政府・自治体研究所教授

牧原 出 東京大学先端科学技術研究センター教授

湯淺 壘道 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授

寺沢 さゆり 長野市議会議長

16:40 次期開催地挨拶

16:50 終了

17:30 第3部 意見交換会 [会場：ホテルメトロポリタン長野]

18:30 終了

第2日目 10月20日(木) [会場：ホクト文化ホール（長野県県民文化会館）]

8:30 開場・受付

9:00 第4部 課題討議

「地方議会のデジタル化の取組報告」(予定)

コーディネーター 谷口 尚子
慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授

事例報告者 取手市、可児市、西脇市

11:00 閉会式

11:30 第5部 視察

伊賀市議会研究研修報告書

伊賀市議会議長 様

報告者

議員名

西條 功子

研修会名 地方議会セミナー 中心市街地再生のための処方箋

日 時 2023年1月9日10時～17時

場 所 京都市下京区函谷鋒町78番地 京都経済センター

【研修の成果】

一部 中心市街地の再生～タウンマネジメントからエリアマネジメントへ～

講師 流通科学大学 長坂泰之 教授

長坂教授は伊賀市でも中心市街地再生の委員会でご指導いただいているご縁がありました。

受講者の地域の中心市街地の状況を情報共有し、類似自治体の確認をしながら、伊賀市の中心市街地の忍者回廊整備事業にも触れさせていただきました。

中心市街地活性化策の歴史（商業者主体から官主導、そして官民連携・公民連携へ）では時代の変遷により今は、タウンマネジメントからエリアマネジメントへと舵を切っている。

これまでの発想の転換をし、ハードとソフトの融合が実効あるエリアマネジメントとなる。

ハードが何もなくなってしまった津波被災地「陸前高田」の再生・復興まちづくりを例に

エリアマネジメントの推進を学ぶ。そして新築の時代からリノベーションの時代へと時間と

空間の発想を考えていくことが重要である。伊賀市の中心市街地活性化事業と重なる視点である。

如何にして次の世代をまちに呼び込むかでは、①大阪・中崎町の「コモンカフェ」の事例で若い人の

尖った感性の人たちのコミュニティ②北九州小倉「家守」現代版「家守」の取組みを学ぶ。

まちゼミという取組みでは「三方よし」で考え、独り勝ちはあり得ない。このバランスが崩れると

にぎわい創出策は継続できないと講師の言葉に納得しました。新たな価値をつけた取組みが新たなまち

のファンを創造する原動力であると認識しました。

2部の「地方都市の中心市街地再生に向けた地方自治体の貢献可能性」講師 静岡大学教授 佐藤正志氏

伊賀市の忍者回廊整備事業の新図書館整備に参考となる藤枝市のPRE採用したにぎわい再生拠点整備

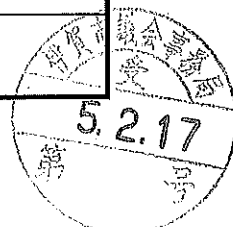
事業を講義いただいた。資料①

一部、二部とも中心市街地再生に向けた地方自治体の課題、役割の展望を考える有意義な講義でした。

まさに今伊賀市が忍者回廊整備事業を進めていくための処方箋であり、大変勉強になりました。

費用

旅費： 1980 円 研修参加費 25,000 円 合計： 26,980 円



旅 程 明 細 書

No.

旅行者	所属	伊賀市議会	氏名	西條 エリ子
用務名(目的・場所)	中心市街地再生のための処方箋			
	京都経済センター 京都市下京区四条通室町東入函谷鉢町78番地			
用務従事期間 (時間)	従事 月日	1月 19日	従事 時間	10:00 ~ 17:00
		月 日		~
		月 日		~

出張 月日	出発地 (出発箇所)	交通 用具	到着地 (到着箇所)	鉄道賃・船賃・航空賃・車賃			小 計	日当	宿泊料	夕食代	朝食代
				路程 km	運 賃 円	急行料金 円					
1月19日	貴生川	JR	京都	43.6	770		770				
	京都	地下鉄	四条	1.8	220		220				
	四条	地下鉄	京都	1.8	220		220				
	京都	JR	貴生川	43.6	770		770				
計							円 1,980	円	円	円	円
							合計	円 1,980			

領収書等添付用紙	議員名	西條エリ子
----------	-----	-------

調査研究費・**研修費**・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費
 人件費・事務所費 (該当項目に○をつけてください。)

領収書

2022年1月19日

伊賀市議会
 西條エリ子 様

金額

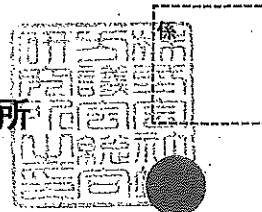
¥25,000

但1月19日セミナー受講料として
 上記正に領収いたしました



〒112-0011
 東京都文京区千石 2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所



領収書 西條エリ子 様
 Receipt
 領収年月日 2023-1-19
 金額 ¥1,540 (消費税等込み)
 上記金額確かに領収いたしました
 購入商品 JR乗車券類 JR tickets
 (00175 2枚)
 西日本旅客鉄道株式会社
 貴生川駅
 貴生川駅MK1 発行 10176-01

印紙税申告納
 付につき大淀
 税務署承認済

貴生川～京都
 住寝

領収書
 西條エリ子 様
 ご利用日付 2023年1月19日 時刻 18時07分
 ★¥220- 但し 普通券購入 代金
 券番号 3572
 上記正に領収いたしました。

京都市交通局 四条 A01

四条 ～ 京都

領収書
 西條エリ子 様
 ご利用日付 2023年1月19日 時刻 09時15分
 ★¥220- 但し 普通券購入 代金
 券番号 2057
 上記正に領収いたしました。

京都市交通局 京都 B02

京都 ～ 四条

議員・職員のための

中心市街地再生の ための処方箋



1月19日(木) in 京都

10:00~13:00 中心市街地の再生
~タウンマネジメントからエリアマネジメントへ~



1. 受講者の皆様の地域の中心市街地の状況(情報共有)
2. 中心市街地活性化策の歴史(商業者主体→官主導→官民連携・公民連携へ)
3. これまでの発想を変える(ハード(建物)とソフト(事業)の融合)
 - (1) ハードが何もなくなってしまった津波被災地「陸前高田」の再生・復興
 - (2) 新築の時代からリノベーションの時代へ(時間&空間の発想を変える)
 - (3) 如何にして次の世代をまちに呼び込むか
 - (4) お宝は無限にあるのではないか
4. タウンマネジメントからエリアマネジメントへ
5. 受講生によるグループワークまたは意見交換または個人作業

講師: **長坂泰之**【流通科学大学准教授】

横浜市立大学大学院都市社会文化研究科博士後期課程修了(博士(学術))。長年、中小企業診断士として、独立行政法人中小企業基盤整備機構にて、中心市街地活性化、震災復興等の現場の支援に携わる。2019年から現職。地域活性化伝道師(内閣府)、中心市街地サポートアドバイザー(中小機構)。コロナ禍以降の商業集積のあり方も研究テーマのひとつ。著書に『中心市街地活性化のツボ』(単著、2011年)、『100円商店街・バル・まちゼミ』(編著、2012年、ともに学芸出版社)他。

14:00~17:00 地方都市の中心市街地再生に向けた
地方自治体の貢献可能性



1. 中心市街地再生の取組みとその実態
2. 中心市街地再生に対する地方自治体独自政策の成果と課題
3. 中心市街地再生における公民連携の展望
4. 立地適正化計画をめぐる地方自治体の意識
5. 地方都市の中心市街地再生に向けた政策形成と展開に向けて

講師: **佐藤正志**【静岡大学准教授】

東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。博士(学術)。専門分野は人文地理学(特に行政地理学、経済地理学)および地方自治論。地方圏でのローカル・ガバナンスを軸に、公共サービス供給や地域経済の再生、中心市街地の再生などの研究を手掛ける。主な著書に、『ローカル・ガバナンスと地域』(共編)、『空き不動産問題から考える地方都市再生』(共著)など。

(株)地方議会総合研究所

日本におけるエリアマネジメントとは

エリアマネジメントとは、地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者等による主体的な取組と定義される。

エリアマネジメントは、快適で魅力的な環境の創出や美しい街並みの形成による資産価値の保全・増進等に加えて、ブランド力の形成や安全・安心な地域づくり、良好なコミュニティ形成、地域の伝統・文化の継承等、ソフトな領域のものも含む。

※出典：国土交通省土地・水資源局土地政策課「エリアマネジメント推進マニュアル」（2008）

Copyright (C) 2022 nagasaka.yasuyuki All Rights Reserved. 13

日本のエリアマネジメントの活動内容 (上位)

- まちの賑わいづくり (企業、学校、地域団体などと連携) (55.1%)
- 防災・防犯・環境維持 (ゴミ拾い・清掃活動も) (36.2%)
- 地域ルールづくり・コミュニティづくり (統一的な景観形成、仲間集め・次世代の担い手の育成) (30.5%)
- まちの情報発信 (インフォメーション機能・ブランドカアップ) (26.8%)
- 公共施設・公共空間の整備・運営 (道路・広場を活用したオープンカフェ・イベント) (25.1%)
- 民間施設の公的利活用 (空き家、空き地等) (10.6%)

「エリアマネジメントの実施状況と効果に関するアンケート調査」(2014年度、京都大学、国土交通省、和歌山大学の共同研究、対象は、都市再生整備計画策定済の826市町村、回答数は746市町村)。

地方都市の中心市街地再生に向けた 地方自治体の貢献可能性

2023年1月19日(水)
於: 京都経済センター
佐藤 正志 (静岡大学教育学部)
sato.masashi@shizuoka.ac.jp

本日の内容の構成

- I 中心市街地再生における地方自治体をめぐる議論
- II 中心市街地再生に対する地方自治体の取り組みと意識
- III 地方自治体が独自に実施する中心市街地政策の成果と課題
 - 北海道苫小牧市の事例をもとに—
- IV 公民連携による中心市街地再生の政策的対応の意味
 - 静岡県藤枝市の事例を中心に—
- V 中心市街地再生に向けた地方自治体の役割の展望

佐藤の自己紹介

- 専門分野:
人文地理学、行政(政治)地理学、
経済地理学、地方自治論
• 主なテーマ
 - ① 公共サービス供給をめぐる公民関係
 - ② 衰退産業地域の再生と支援
- 【本日の内容】
箸本健二教授(早稲田大)・武者忠彦教授(信州大)らとの共同研究の内容

空き不動産問題から 考える地方都市再生



「空き家」問題が都市再生の鍵となる。空き家問題が都市再生の鍵となる。空き家問題が都市再生の鍵となる。

0. ご参加の皆様にお尋ねします

配布資料の空欄に書き込んでみて下さい。

- Q1 皆様がお住まいの、市町村全体の人口および「中心市街地」の人口を、それぞれご記入ください。
- Q2 皆様がお住まいの市町村の「中心市街地」には、どこから、どれくらい人が訪れているでしょうか？ご記入ください。
- Q3 皆様がお住まいの市町村の「中心市街地」が、他の市町村の「中心市街地」と最も違う点はどこでしょうか？いくつか挙げてみてください。

伊賀市議会研究研修報告書

伊賀市議会議長 様

報告者

議員名 西條 英里子

研修会名 地方議会セミナー 「性への多様性をふまえた住みやすいまちづくり」 「LGBTQの住宅問題」
「男らしく女らしくよりも自分らしく生きる」

日 時 2023年2月9日10時～17時

場 所 京都市下京区函谷鉾町78番地 京都経済センター

【研修の成果】

「男らしく、女らしくよりも自分らしく生きる」～ひとりひとりの多様性が尊重される社会へ～

講師 清水展人 長女として生まれ、性同一性障害と診断を受け現在は非営利型一般社団法人日本LGBT協会代表理事として、学校、企業、行政での研修、コンサル著作活動

講師自身の人生経験を基に幼少期からの学生時代に直面する困難、カミングアウト、就職活動時の困難
多様な家族の在り方、困難や課題が理解できた。

LGBTは8,0%いると言われており、身近な存在と言える。しかしながら、身近にあるけれど、表面化しにくい課題である。また、性同一性障害で受診した調査では、自殺念慮58,6%、不登校29,4%といわれており、「生きづらさ」を感じる当事者や家族が存在することが解りました。

私たち誰もが、自分らしく生きることができる社会をめざし、人と人との違いや多様性を認め合うことは全ての人の幸せに繋がります。この講座により知ることが大切であると理解し、一人で悩ませない社会
違いを認め、カミングアウトや相談のしやすい環境づくりが今、求められていると感じます。

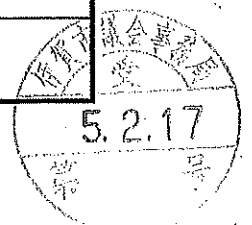
「セクシャルマイノリティの住宅問題」 講師 追手門学院大学教授 葛西リサ

地方自治体における住宅問題の課題として賃貸住宅供給促進計画が奈良県以外の46都道府県で作成されており、44都道府県がLGBTQを要配慮者と位置付けている。(三重県は位置付けていない)
にもかかわらず、当事者の具体的な問題についてわからないとの回答が多数で、具体的に相談があったという自治体は数パーセントであった。

「だれと住むかは私が決める」住宅領域のダイバーシティ化に向けて

不動産市場は、未だ、血縁と異性婚に拘る文化が根強い。少子高齢化、人口減少社会の中で、標準家族だけをターゲットにすることの限界も見え始めている。多様性を受容していく方向に舵を切るとき、セクシャリティへの配慮が欠かせない。住宅確保配慮者にLGBTQを位置付けているなら、当事者の実態を知り、何が必要かを自治体で検討すべきである。安心して生活できる環境をいかに整備していくべきか行政、不動産領域、市場の不利を補う非営利組織など、できることはそれぞれ違う。相互に手を取り合わなければ、当事者の住生活問題は解決しないと理解した。

費用 旅費：1980 円 研修参加費 25000 円 合計：26980 円



旅程明細書

No.

旅行者	所属	伊賀市議会	氏名	西條 エリ子
用務名(目的:場所)	性への多様性をふまえた住みやすいまちづくり			
	京都経済センター 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地			
用務従事期間 (時間)	従事 月日	2月 9日	従事 時間	10:00 ~ 17:00
		月 日		~
		月 日		~

出張 月日	出発地 (出発箇所)	交通 用具	到着地 (到着箇所)	鉄道賃・船賃・航空賃・車賃			小計	日当	宿泊料	夕食代	朝食代	
				路程	運賃	急行料金						
				km	円	円	円	円	円	円	円	
2月9日	貴生川	JR	京都	43.6	770		770					
	京都	地下鉄	四条	1.8	220		220					
	四条	地下鉄	京都	1.8	220		220					
	京都	JR	貴生川	43.6	770		770					
計							円 1,980	円	円	円	円	
							合計	円 1,980				

領収書等添付用紙 議員名 西條エリ子

調査研究費・**研修費**・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費
 人件費・事務所費 (該当項目に○をつけてください。)

領収書

2023年2月9日

伊賀市議会
 西條エリ子 様

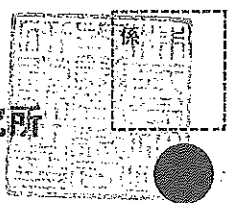
金額

¥25,000

但2月9日セミナー受講料として
 上記正に領収いたしました

収入印紙

〒112-0011
 東京都文京区千石 2-34-6



株式会社 地方議会総合研究所



領 収 書
 西條エリ子 様

BC No. 0161-41

金額	十	億	千	百	十	万	千	百	十	円
						¥	1	5	4	0

- ただし (1) 乗車券類(消費税及び地方消費税を含んでいます。)
 2. チャージ(消費税は非課税です。)
 3. クレジット扱い(No.)
 4. その他()

上記の金額を領収しました。

2023年2月9日
 西日本旅客鉄道株式会社

発行箇所 貴生川駅

収入印紙
 (200円)
 5万円未満不要
 100万円超のものは
 印紙税額一覧表
 による

取扱者

890-05-15900

貴生川~京都
 往復

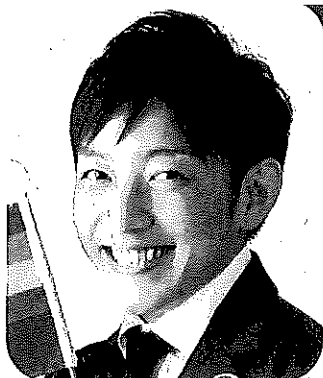
議員・職員のための

性への多様性をふまえた 住みやすいまちづくり

2月9日(木) in 京都

同時開催！
オンラインセミナー

10:00～13:00



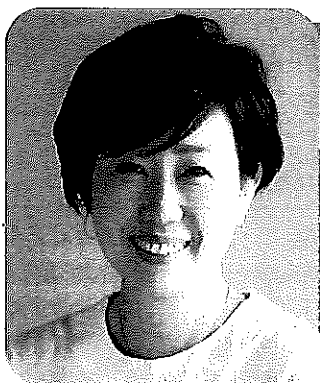
「男らしく、女らしくよりも自分らしく生きる」
～ひとりひとりの多様性が尊重される社会へ～

1. 性の多様性、それぞれのあり方
2. LGBTQ、SOGI、SOGIハラとは
3. 性的マイノリティの人権課題について
4. いじめ、暴言、不登校、自殺念慮等について
5. 幼少期から学生時代に直面する困難について
6. カミングアウト、就職活動時の困難について
7. 多様な家族の在り方、困難や課題について
8. 誰もが住みやすいまちづくりへ

講師: 清水 展人【非営利型一般社団法人日本LGBT協会代表理事】

1985年に長女として生まれ、18歳で性同一性障害(現:性別違和)と診断を受け、治療や手術を行う。現在は、全国各地の学校・企業・行政での研修やコンサル・著者として活動。自身の人生経験を糧に、専門知識、実績を生かし、全国各地の学校・企業・行政・向け研修や上場企業から中小企業向けの研修会の講師・コンサルタント・著者として活動。医療専門学校非常勤講師。専門は精神医学、精神障がい治療学、臨床心理学等。主な著書に『アメリカ・ロサンゼルスにおけるLGBT支援の現場』総合教育出版『今とこれからがわかるはじめてのLGBT入門』主婦の友社(教養・社会ランキング1位)など多数。

14:00～17:00



LGBTQの住宅問題

1. データから見る性的少数者の住まいの不利
2. 民間賃貸住宅市場の仕組みと課題
3. LGBTQへのサービスを展開する先駆事例
4. 不動産市場から排除される当事者への支援の必要性
5. LGBTQ支援自治体にできることは

講師: 葛西 リサ【追手門学院大学准教授】

神戸大学大学院自然科学研究科修了。学術博士。ひとり親世帯、DV被害者、セクシュアルマイノリティの住生活問題を専門とする。主な著書に、「母子世帯の居住貧困」、「住まい+ケアを考える—シングルマザー向けシェアハウスの多様なカタチ—」等。2009年都市住宅学会研究奨励賞受賞、2016年住総研研究選奨受賞、2019年都市住宅学会研究論文賞受賞。国土交通省「高齢者等の地域安心居住を支える住まいの整備水準に関する調査整理業務」検討ワーキング委員、国土交通省スマートウェルネス住宅等推進モデル事業専門委員を歴任。国土交通省「人生100年時代を支える住まい環境整備モデル事業」専門委員を兼任。

(株)地方議会総合研究所

性のあり方はいろいろ！

性の多様性について理解する指標として、SOGIESC(ソジエスク: Sexual Orientation / Gender Identity / Gender Expression / Sex Characteristics) という4つの要素があるといわれています。

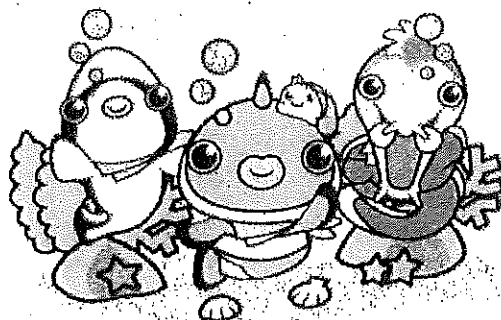
- ・ **性的指向 (Sexual Orientation)**
恋愛感情や性的な関心・興味が主にどの性別に向いているか／恋愛感情や性的な関心・興味の有無や強さ
- ・ **性自認 (Gender Identity)**
自分がどのような性別であるか又はないかについての認識
- ・ **性表現 (Gender Expression)**
服装・髪型・しぐさ・喋り方などの外部的な表現
- ・ **性的特徴 (Sex Characteristics)**
染色体・ホルモン値・筋肉量・体毛など、生物学的な性別を示す身体的特徴・行動特性

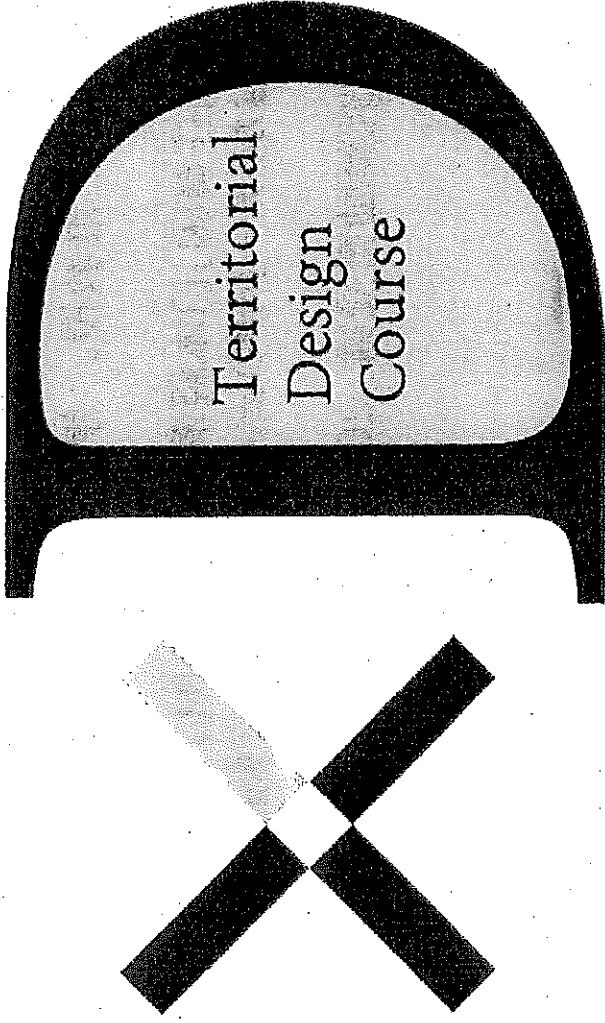
LGBTってなんだろう？

LGBTとは、L(レズビアン=女性同性愛者)、G(ゲイ=男性同性愛者)、B(バイセクシュアル=両性愛者)、T(トランスジェンダー=出生時に割り当てられた性別と、性自認が異なる人)の頭文字を取った呼称で、性的少数者(セクシュアルマイノリティ、性的マイノリティとも言います)を指し示す言葉として使われます。

IS(インターセックス=染色体パターンや内外性器等が性別判断の医学基準に合致しない人)やQ(クィア=性的マイノリティの総称/クエスチョニング=自分のセクシュアリティの特定や、名づけることを避ける人)、A(アセクシュアル=無性愛者)などを含む呼称として、LGBTQ・LGBTQ+・LGBTI・LGBTIQs・LGBTIQA等も使われています。

日本LGBT協会
公式キャラクター
そら・あさひ・あかり・しずく
だよ！よろしくね！





Faculty of Regional Development Studies, Otemon Gakuin University

©Masato Tanaka

セクシュアルマイリテイの住宅問題

追手門学院大学地域創造学部

葛西 リサ

2011.12.10